

9/25  
2021年第1406号  
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会 会武  
和 田 大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33  
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33 表  
電話(06)6568-7731(代表)  
http://osk-hok.org/  
●定価・年間10,000円 月1,000円  
●1977年5月23日第三種郵便物認可

# 市民講座 「歯は健康長寿の鍵」

10月31日(日) 10:30~12:30 M&Dホール(Zoom併用) 参加費無料

「保険でよい歯科医療を」大阪連絡会は10月31日、「歯は健康長寿の鍵」新型コロナに負けない歯と口の健康づくり」をテーマに、笠原浩氏(松本歯科大学名誉教授・特任教授)を講師に招き市民講座を開催する(後援・大阪府、大阪市)。市民講座はオンライン(Zoom)での参加も受け付けており、協会は会員・スタッフ・患者の参加を広く呼びかけている。参加費は無料。

笠原氏は、重度障害者に対する全身麻酔下での集中歯科治療や施設巡回診療などに積極的な取り組みを続け、障害者歯科医療の充実に貢献してきました。近年は長寿県信州の「ピンコロ」(ピンピンコロリ)「宣教師」として全国各地で講演を続けています。

市民講座では、健康長寿の願いをかかえる、現代医学に裏付けられた「ピンピンコロリ」の秘訣に加え、コロナに負けない健康づくりを、口腔ケアの視点からお話

保険でよい歯科診療を  
大阪連絡会



講師：笠原浩氏  
東京医科歯科大学歯学部卒業。代々木病院歯科口腔外科医長を経て、松本歯科大学小児歯科学講座助教授、同障害者歯科学講座教授、同病院長。ロンドン大学(UCL)客員教授、長野県医療審議会会長などを歴任。



「歯は健康長寿の鍵」～新型コロナに負けない歯と口の健康づくり～  
入場無料

講演の前に「保険でよい歯科医療を」大阪連

絡会総会を10時から30分ほど開催します。

### 「保険でより良い歯科医療」署名「クイズで考える私たちの医療」

協会は、総選挙と来年の診療報酬改定にむけ、「クイズで考える私たちの医療」と「保険でより良い歯科医療」の実現を求める請願署名に取り組んでいる。署名では、窓口負担減や歯科治療の保険適用範囲の拡充、低歯科診療報酬の改善などを求めている。署名の取り組みは11月末まで。一人でも多くの署名協力をお願いします。署名用紙の追加注文は事務局(TEL06-6568-7731)まで。



「クイズで考える私たちの医療」(左)と「保険でより良い歯科医療」の実現を求める請願署名(右)

ご協力をお願いします

政策部は総選挙の争点を学ぼうと11日、WEB学習会「コロナ禍の総選挙で問われるもの」を開いた。講師を務めた経済学者の石川康宏氏(神戸女学院大学教授・写真)は、自民党政治の行き詰



政策学習会

### 市民が声を上げ政治変えよう

石川氏が講演、総選挙の争点学ぶ

石川氏は「コロナ禍が社会の課題をあぶり出した」と述べ、大企業の利益を最優先とする新自由主義政策の結果、地球規模で自然環境の破壊や貧富の格差の急拡大をもたらしていることを強調。「世界的に新自由主義が

まりを指摘し、「命と暮らしを守る政治を実現するために、市民が声を上げることが重要だ」と強調した。「命と暮らしを守る社会」の到達点として、「幸福」大国のデนมールを紹介。医療も介護も学費も無料の一方、日本より一人当たりのGDPが圧倒的に高く、経済成長と高福祉を両立させている実態を説明した。幸福度ランキングでは同国

の2位に対し、日本は56位に低迷していることを挙げ、「同じ資本主義の国でも大きな違いがある。どちらの社会を目指すべきか国民にとって幸せが明らかではないか」と問題提起した。現在の日本の政治情勢について説明した同氏は、「コロナ禍で医療供給体制は機能不全に陥り、都議選や知事選でも全敗するなど自民党の行き詰まりが顕著になった」と説明。野党4党が「市民連合」との共通政策について合意し、コロナ対策や格差問題、安全

講演の視聴は  
こちらから



### 協会直通番号のご案内

保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。

社保研究部 06-6568-7467  
共 済 部 06-6568-7438

### 金パラ確定点数は3面

写真で見る 協会創立50周年

2000年 電車に吊り広告



協会・保団連近畿ブロックが、老人医療費の定率負担など患者負担増を阻止するため、近畿圏のJR・私鉄車内に「ストップ!!患者負担増」の吊り広告を出し、市民に広く訴えた。

### 市民講座

申込はコチラ

※Zoom参加者はメールアドレスの登録をお忘れなく



### 令和3年度・感染拡大防止支援金(25万円) 9月30日(当日消印有効)の締め切り迫る

厚生労働省の「感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金」(上限25万円)の申請が9月30日で締め切られる。同補助金は、今年2月28日までに申請しなかった保険医療機関が対象。対象4月1日~9月30日までに支出した経費で、▽感染拡大防止対策▽診療体制確保のための経費——等。家賃や水光熱費なども幅広く含まれる。申請は、厚労省ホームページ(QRコード参照)から書類をダウンロードし、下記住所に郵送する。同補助金の問い合わせは、厚労省・医療提供体制支援補助金コールセンター(TEL0120-336-933)まで。平日午前9時30分~午後6時。

【提出先】〒119-0397 銀座郵便局留  
「厚生労働省 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金担当」

【書類入手先】インターネットで「令和3年度感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金」を検索、または右記QRコードから。



令和2年度申請者は対象外

女性差別など非人道的な行為に対しては国際社会が毅然とした姿勢で示す必要があるが、多様性を受け入れる寛容さと、国家間の経済格差を改善する努力をしなければ、無意味な殺戮と憎悪の負のスパイラルから抜け出せないのではないか。(N)

### 歯界

アフガニスタンからアメリカ軍が完全撤退し、20年というアメリカの最も長い戦争が終わった。9・11同時多発テロから始まり、アメリカのナシヨナリズムの高揚を背景に「ブッシュ政権下で、対テロ戦争が正義の戦い」として正当化された。テロ行為は決して正当化されるものではないが、アルカイダが世界貿易センタービルを標的に選んだのは、そこがアメリカ経済の象徴で、世界の富の偏在化の象徴である様に映ったのではないだろうか。イスラム諸国からは、アメリカが富を独占しながら世界の警察面して自分たちの宗教や価値観をおしつけている様に見えるのかもしれない。